

【世界食料デー記念シンポジウム】

日本のオイシイを守る コロナ時代の食料安保リスク

2020年10月29日（木）15:30-17:00
オンライン開催



鷲尾 英一郎 外務副大臣

毎年10月16日は、世界の食料問題を考える日として国連が制定した「世界食料デー」です。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うフードサプライチェーンの混乱や食料供給の不安定化は、世界の食料安全保障への新たな大きなリスクです。また、日本は、多くの食料を輸入に頼っており、私たちの食料を安定的に確保していくためには、生産・流通・消費形態への変革や、より持続可能なフードサプライチェーンの構築などが必要です。

世界と日本の食料安全保障を、より強靱かつ持続可能なものとする方策を、FAOの専門家や、農業・食料に携わる多様な方々と共に幅広く議論し、世界と日本の食料安全保障についての理解を深めたいと考えます。食料・農業に関心のある幅広い層からの参加をお待ちしております。



ジェミー・モリソン（国連食糧農業機関（FAO）食料システム・食料安全部長）

貿易や経済に着目した政策形成を通じた食料安全保障の専門家として、政策分析、能力開発及び技術支援等の25年以上の経験も有する。



高橋 大就（オイシックス・ラ・大地（株）執行役員（Oisix香港・上海代表）／（一社）「東の食の会」事務局代表）

オイシックスにて日本の食材を海外に販売・宅配する事業を展開すると同時に、「東の食の会」にて東北の食のプロデュースを行い、「サヴァ缶」などのヒット商品や多くのヒーロー農家・漁師を生み出している。日本貿易振興機構（JETRO）の食の輸出に関する審議会委員も務める。



大津 愛梨（O2Farm／NPO法人田舎のヒロインズ理事長）ドイツ生まれ東京育ち。2003年より夫の郷里である南阿蘇で就農し、O2Farmの屋号で無農薬・減農薬の米を栽培している。女性農家を中心としたNPO法人田舎のヒロインズ理事長。2017年には国連食糧農業機関（FAO）から「模範農業者賞」を受賞した。農業、農村の価値や魅力について発信を続けている4児の母。



森崎 友紀（料理研究家・管理栄養士株式会社UNITY MAGENTA代表取締役）管理栄養士・製菓衛生師・中医薬膳指導員・チャイルドマインダーの知識、経験を生かし、各種イベントの講師、メニュー開発、各種メディアで活動中。近著「ママががんばらないで離乳食」「食戟のソーマ ラストファンブック」。



久納 寛子（農林水産省 大臣官房政策課 食料安全保障室長）2015年から2年間（株）電通に出向し、銀座のイベントプロデュースや豊洲エリアのブランディングに関わる。農水省帰任後は、もち麦弁当など、国の研究成果の事業化を支援。近著「ニューコンセプト大全 仕事のアイデアが生まれる50の思考法」（電通Bチーム著、KADOKAWA）。2020年7月より現職。（敬称略）

プログラム ★日英同時通訳★

開会挨拶 鷲尾 英一郎 外務副大臣

基調メッセージ

ジェミー・モリソン（FAO食料システム・食料安全部長）

高橋 大就（オイシックス・ラ・大地（株）執行役員（Oisix香港・上海代表）／（一社）「東の食の会」事務局代表）

パネルディスカッション・質疑応答

ジェミー・モリソン（FAO食料システム・食料安全部長）

高橋 大就（オイシックス・ラ・大地（株）執行役員（Oisix香港・上海代表）／（一社）「東の食の会」事務局代表）

大津 愛梨（O2Farm／NPO法人田舎のヒロインズ理事長）

森崎 友紀（料理研究家・管理栄養士

株式会社UNITY MAGENTA代表取締役）

久納 寛子（農林水産省大臣官房政策課 食料安全保障室長）

モデレーター

菊地 信之（外務省経済局 資源安全保障室長）

参加登録方法：Eメール（food-resources-event@mofa.go.jp宛）に、お名前・ご所属を記入の上、シンポジウム当日10月29日（木）10時までにお送りください。開始時間までにオンライン会議システムへの招待メールを送付いたします。※アクセス数に限りがあることから、お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。お問い合わせ先：外務省経済局資源安全保障室 TEL: 03-3580-3311（内線：2848・2528）（担当 小川・石垣・小林）

【主催】外務省

【共催】国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所